

「2019年度総会講演会」アンケート集計

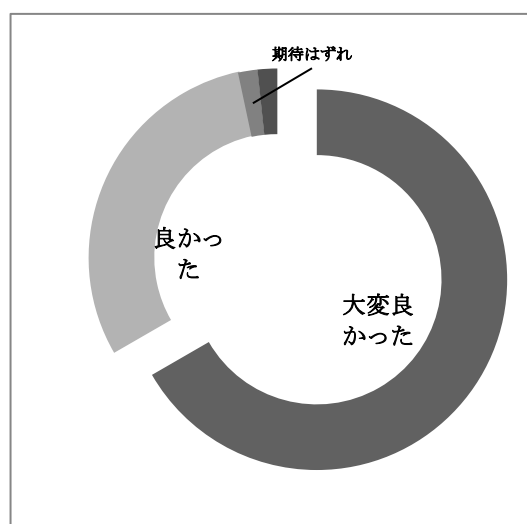
～ 裁判事例から考えるリスクマネジメントと苦情対応の在り方 ～

①どの事業所に所属していますか？

事業所名	参加人数	占有率
1 介護老人福祉施設	15人	25.0%
2 訪問介護事業所	10人	16.7%
3 デイサービス・デイケアセンター	7人	11.7%
4 障害者支援施設	6人	10.0%
5 介護老人保健施設	4人	6.7%
6 有料老人ホーム	4人	6.7%
7 病院	4人	6.7%
8 居宅介護支援事業所	4人	6.7%
9 グループホーム	1人	1.7%
10 ショートステイ施設	1人	1.7%
11 相談事業所	1人	1.7%
12 介護医療院	1人	1.7%
13 包括	1人	1.7%
14 無回答	1人	1.7%
15 小規模多機能型居宅介護	0人	0.0%
16 介護療養型医療施設	0人	0.0%
17 養成校学生	0人	0.0%
合計	60人	100%

②今回の講演はいかがでしたか？

回答内容	人数	占有率
・大変良かった	40人	66.7%
・良かった	18人	30.0%
・期待したほどではなかった	1人	1.7%
・無回答	1人	1.7%
合計	60人	100.0%



《感想》

- 1、日々の記録の大切さを感じました。記録、リスクについて自施設での学習につなげます。
- 2、具体的な事例を用いての講演で、分かりやすかった。
- 3、改めて信頼とコミュニケーションの重要性を認識しました。
- 4、介護記録の重要さを再認識できました。
- 5、介助等について、予測・回避・記録化の重要性を再認識できました。
- 6、どんなに些細な事でも記録が大事。予測・回避等様々なことを考えながら業務にあたります。
- 7、短いキーワード「予測・回避・記録」が心に残りました。
- 8、裁判事例の判断ポイントを詳しく説明していただき、分かりやすく勉強になりました。
- 9、日頃から利用者の事を理解し、コミュニケーションをとることが大切であることを知りました。
- 10、常に正しく記録しておくことの大切さを改めて考えさせられました。
- 11、訴訟沙汰になった時の対処方法を、とても分かりやすく教えていただきました。
- 12、事故が多々ある中で、いつ賠償請求の当事者になってもおかしくない・・・と思った。
- 13、今回の通山先生の事故の件はとても身近に考えられる事件ばかりでした。
- 14、現場からの質疑応答も良かった。
- 15、人材不足の現在、リスク管理は管理者が本気で取組み、対応してほしい。
- 16、個々の判例の説明を聞いたかった。
- 17、介護職員が当該事件の債務者となった場合の賠償責任保険があれば紹介して欲しい。

- 18、通山先生のレジメとケースを対応させた内容が分かりやすかったです。
- 19、今後益々介護事故に対する訴訟事件が増えていくと思いますので、よい機会となりました。
- 20、判例を通して、具体的な記録内容やリスク回避方法がよく理解できました。
- 21、また通山先生の講義を聴きたいです。

③今後受けてみたい研修内容、研修講師について

- 1、虐待防止、身体拘束防止
- 2、障害系の研修
- 3、記録の大切さ
- 4、弁護士が講師の今回みたいな研修
- 5、高齢者の病気（症状から察知できる病気）
- 6、リスクマネジメントをもっと詳しく勉強したい。
- 7、個別ケア、ポジショニング
- 8、アンガーマネジメント
- 9、全体会議で、自主映画「ケニアン」＜人材育成ドキュメンタリー＞（2017年公開）の上演。
※（製作者）加藤忠相；藤沢市の介護施設「あおいけあ」代表
- 10、僧侶の話を聞いてみたい。
- 11、レク、看取り、介護の倫理
- 12、ケアマネージャー向け研修
- 13、三好春樹の講義

④山口県介護福祉士会への意見

- 1、色々な研修を企画してくださり有難うございます。
- 2、役員の皆様に感謝しております。
- 3、多くの学びを得る事が出来て感謝しております。
- 4、もっと弁護士さんをお呼びください。
- 5、役員紹介の時は、ブロック毎にまとまった方が分かりやすい・・・ゴチャゴチャしていた。
- 6、会員増加に向けた取り組みをお願いします。
- 7、いつも機関紙発行等、色々と活動されている事に感謝申し上げます。